

| | | | | | | | | | | | |
|---|-----|--|---|--------------|-----------------|-----|----------------|----------|----|----------|---------|
| 授業科目名 <英訳> | | 臨床遺伝学演習 Clinical Genetics, Exercise | | | 担当者所属・ 職名・氏名 | | 医学研究科 教授 小杉 眞司 | | | | |
| 配当 学年 | 専門職 | 単位数 | 1 | 開講年度・ 開講期 | 2015・ 後期 | 曜時限 | 水5・6:開講日注意 | 授業 形態 | 演習 | 使用 言語 | 日本語及び英語 |
| [授業の概要・目的] | | | | | | | | | | | |
| <p>【基本情報】別称：「遺伝カウンセリングロールプレイ演習」 授業日時：後期水曜5/6限（隔週を原則とする。例外予定にご注意ください） 教室：G棟3階演習室、レベル：応用 担当者：小杉眞司・浦尾充子・和田敬仁・三宅秀彦・澤井英明（兵庫医科大学）・村上裕美、鳥嶋雅子（遺伝子診療部認定遺伝カウンセラー）・赤川、浅井（SC：模擬患者ボランティア）</p> <p>【コースの概要】 1）2週間までに担当教員がクライアント調整役の院生に前期臨床遺伝学で学んだ事項に関連した具体的な症例のシナリオを提示する。クライアント役の負担を考え、シナリオは家系図を含みA4用紙4枚以内とすること。 2）1週間前までにクライアント調整役の院生は、担当教員と相談の上でシナリオから詳細設定をし、担当SC（模擬クライアント）の方とメールで打合せしておく。（GCメンターサポート）。その際、担当教員はこのRPにおける「ねらい」を明示しておくものとする。 3）当日、16:30-17:00に担当SC・教員・クライアント調整役が副室で内容確認を行う。 4）当日、16:30-17:00の時間、遺伝カウンセラー役の院生が教員や上級生、GCメンターと疾患説明の確認、遺伝カウンセリング場所の整備などを行う。 5）17:00-18:50の予定でロールプレイを2場面程度行う。 6）18:50-19:15の予定でロールプレイについて全員で意見交換を行う（必要があれば休憩も入れる） *クライアント役としてはSCさんの他に遺伝カウンセラーコース2回生が担当することもある。（一巡目以降は、クライアント役が不足する場合は調整役自らクライアントとなる）M1院生は、遺伝カウンセラー役、クライアント（調整）役、オブザーバを経験する。 7）19:15-19:30（休憩を入れたときは19:30-19:45）SC、メンターのための情報交換 8）その後、メンターと院生M1全員のフィードバック</p> | | | | | | | | | | | |
| [到達目標] | | | | | | | | | | | |
| 遺伝カウンセラーとしての実践的な技術を身に付け、現場での実践的な対応能力を獲得する。臨床遺伝学の知識と遺伝カウンセリングの基本的技術を習得する。 | | | | | | | | | | | |
| [授業計画と内容] | | | | | | | | | | | |
| <p>【第1回】9月30日5限<小杉・和田・三宅>「ロールプレイの行い方」目的、方法、意義 【第2/3回】10月21日<小杉・浦尾>「Lynch症候群」家系内に40-50歳代で大腸癌で死亡した複数の人があり、遺伝性の可能性を心配。遺伝学的検査の説明と実施、遺伝子変異があった場合の対応 【第5/6回】11月11日<三宅・浦尾>「ダウン症候群」ダウン症候群の出生前診断にかかる遺伝カウンセリングについて、その症状と将来の療育、発症の仕組みと次回妊娠での再発率等も含め対応 【第7/8回】11月25日<和田・浦尾>「進行性筋ジストロフィー」ドゥシェンヌ型筋ジストロフィーの患者を持つ家族に対して、医療情報、遺伝学的情報の適切な提供、心理的支援などを学ぶ 【第8/9回】12月9日<小杉・浦尾>「遺伝性乳がん・卵巣がん」乳がん患者が多数いる家系での遺伝性乳がんのリスクの評価および遺伝学的検査の適応 【第10/11回】12月25日金5/6限<澤井>「習慣流産」妊娠初期に3回続けて流産。流産の原因や次回妊娠での対応、遺伝学的検査その他の検査、着床前診断について 【第12/13回】1月13日<三宅・浦尾>「ターナー症候群」思春期をすぎて無月経で来院、染色体検査でターナー症候群と診断されたケースに診断の告知、疾患の説明、今後必要な治療について対応 【第14/15回】1月27日<和田・浦尾>「Huntington病」トリプレットリピートの伸長により発症す</p> | | | | | | | | | | | |
| 臨床遺伝学演習(2)へ続く ↓↓↓ | | | | | | | | | | | |

臨床遺伝学演習(2)

る遺伝性神経疾患の患者を持つ家族に対して、医療情報、遺伝学的情報の適切な提供、心理的支援（特に発症前診断）などを学ぶ

【第16/17回】2月10日<三宅・浦尾>「血管型Ehlers-Danlos症候群」成人期に突然死を生じる結合組織疾患のひとつ。疾患への対応，家族への影響について，遺伝子診療を中心に検討

<担当者>GC役：遺伝カウンセラー役、CL調：クライアント調整役、GCメンタ：遺伝カウンセラー側メンター、CLメンタ：クライアント調整役メンター、SC担当者、オブザーバ

GC役 /CL調 /GCメンタ/CLメンタ/SC担当者

第2/3回 A() C() 村上 鳥嶋 ()

第4/5回 B() D() 鳥嶋 村上 ()

第6/7回 C() B() 村上 鳥嶋 ()

第8/9回 D() A() 鳥嶋 村上 ()

第10/11回 B() C() 村上 鳥嶋 ()

第12/13回 C() D() 鳥嶋 村上 ()

第14/15回 D() A() 村上 鳥嶋 ()

第16/17回 A() B() 鳥嶋 村上 ()

・参加者：担当者、関係全教員、遺伝カウンセラー役院生（M1）、クライアント調整役（M1）、オブザーバ（M1、M2、博士院生）、GCメンター

・記録：クライアント調整役（終了後参加教官へレポートを提出）、オブザーバー担当（ビデオ撮影およびファイルをサーバに保存：復習用）

【履修要件】

遺伝カウンセラーコース1回生限定必修科目（事前確定科目）

【成績評価の方法・観点及び達成度】

演習における積極性、実践的能力、出席、レポート等を総合的に評価する

【教科書】

使用しない

【参考書等】

（参考書）

【授業外学習（予習・復習）等】

（その他（オフィスアワー等））

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。